

① 高齢者の健康増進施策の拡充について

本町は高齢者を対象に入浴補助券を発行し健康増進に努めています。この制度は、入浴による温浴効果、プールの利用による身体機能の保持増進に一定の効果을あげているものと理解しています。一方、バス、タクシーなど公共交通機関の利用など、入浴以外の選択肢を希望する意見、ニーズが存在します。この間、同僚議員の一般質問、委員会での同僚議員の質疑、町が公開しているまちづくり提案箱への住民からの投書内容などでもそのことは明らかでありますし、私自身、住民の方から同様な意見をいただいています。そこで質問します。

(1) 入浴補助券の交付冊数、利用率の状況はどうなっていますか。

(2) バス（スマートカード）については断念したと答弁があっていますが、再検討する考えはないでしょうか。また同僚議員に対し「研究する」と答弁しているタクシー補助券についての現状はどうなっていますか。

(3) 商工会と協力し本町で利用できる商品券を選択肢に加えてはどうかという住民からの提案があります。外出機会の確保による健康増進のみならず、地元商業の活性化に寄与するという新たな発想であり、研究・検討に価する提案だと思いますが、町の見解をうかがいます。

② 平和事業について

長崎原爆の被爆地域にあたる本町は、毎年平和に関する事業を実施しています。戦後70年を過ぎ、徐々に被爆体験者や戦争体験者が少なくなっています。戦争の記憶の風化や不断の努力によって平和が維持されるという意識が希薄化しないよう努力することは、議会や行政の責務であると考えます。

(1) 二期目の当選をはたした町長の平和についての基本的な認識と、本町の平和事業についての考え方、28年度の平和事業の内容をうかがいます。

(2) 本町の平和団体「長与町「平和で安全な町宣言」を生かし憲法九条を守る会」の代表から平和事業の提案がなされているようですが、それへの対応をうかがいます。

③ 地域コーディネーターについて

28年度、洗切小学校校区をモデル事業として地域コーディネーターを実施するようです。名称から察すると地域が関わることであり、教育委員会からの説明を求めたいと考えます。この事業について内容や手法、目的がどのようなものなのかうかがいます。